

第118回 東京医科大学病院 市民公開講座

パーキンソン病ってどんな病気？

手足が震える、筋肉がこわばる感じがする、転びやすくなった…など“歳のせい”だと思っているその症状ですが、もしかすると、「パーキンソン病」かもしれません。

50歳以降に発症することが多く、脳の異常のため、脳からの運動の指令がうまく伝わらず、体の動きが不自由になる病気です。現在、日本には約15万人の患者さんがいるともいわれています。

てらしひろお

その「パーキンソン病」につきまして、神経内科 赫 寛雄 准教授が解説をいたします。

皆さまのご参加をお待ちしております。

■日 時：平成29年6月30日（金）

開場 17:00

開演 17:30～

閉演 18:30（予定）

■会 場：東京医科大学病院

本館6階 臨床講堂

（最寄駅：丸ノ内線 西新宿駅）

■入 場 料：無 料

■申し込み：事前の申し込みは不要。当日は会場に直接お越しください。

■お問合せ：東京医科大学病院 総務課 ☎ 03-3342-6111(代)

※尚、座席数に限りがございます（320席）。満席の場合は入場をお断りする場合がございますので予めご了承ください。



共催：東京医科大学

東京医科大学病院 生涯教育センター

東京医科大学病院 総合相談・支援センター

公益財団法人 東京医科大学がん研究事業団

東 京 医 専

 東京医科大学病院
TOKYO MEDICAL UNIVERSITY HOSPITAL